



平成28年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フジコー

コード番号 2405 URL <http://www.fujikoh-net.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小林 直人

問合せ先責任者 (役職名) 管理部チームリーダー

(氏名) 長峰 克典

TEL 03-3841-5431

四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日

配当支払開始予定日

平成28年3月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第2四半期の連結業績(平成27年7月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第2四半期	1,341	4.6	144	△16.8	132	△13.4	79	△13.1
27年6月期第2四半期	1,283	—	173	—	152	—	91	—

(注) 包括利益 28年6月期第2四半期 69百万円 (△19.3%) 27年6月期第2四半期 85百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第2四半期	20.52	20.48
27年6月期第2四半期	24.16	24.03

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年6月期第2四半期	6,231	2,077	29.3
27年6月期	4,362	1,851	39.4

(参考) 自己資本 28年6月期第2四半期 1,825百万円 27年6月期 1,719百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	5.00	—	4.00	9.00
28年6月期	—	5.00	—	—	—
28年6月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年6月期の連結業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	2,760	7.5	350	1.8	310	6.5	190	19.2
								49.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年6月期2Q	3,891,000 株	27年6月期	3,820,200 株
② 期末自己株式数	28年6月期2Q	123 株	27年6月期	78 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年6月期2Q	3,881,425 株	27年6月期2Q	3,792,488 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項について、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間における取り組みは、当社グループの主要部門であります建設系リサイクル事業において、各施設の稼働及び受入数量の安定化に注力してまいりました。今期の期首から建設系廃棄物を取り巻く事業環境は価格競争が発生する等、厳しい状況が継続しておりますが、既存取引先に加え、新規取引先の拡大等により多くのお取引先に支えられ、受入数量及び受入平均単価も計画通り堅調に推移することができました。また、新規事業であります森林発電事業は、平成27年12月より一戸町の事業会社に向けた電力小売を開始しております。さらに蓄電池を活用した「地産地消型再生可能エネルギー面的利用等推進事業」に参加し、平成28年2月から一戸町役場及び小中学校等の公共施設への電力小売を開始する計画であります。バイオマス発電施設の建設工事はプラント工事が概ね終了し、周囲の建設工事を進めております。

これらの結果、売上高は1,341百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

売上原価は1,046百万円（前年同期比8.4%増）となり、前年同期比で電力仕入費用及び外注費用が増加しており、計画比では修繕費及び消耗品費が増加しております。売上総利益は294百万円（前年同期比7.1%減）となりました。

販売費及び一般管理費は150百万円（前年同期比4.6%増）となり、一戸フォレストパワー等の一戸町での準備費用が13百万円増加しております。その結果、営業利益が144百万円（前年同期比16.8%減）、経常利益は132百万円（前年同期比13.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は79百万円（前年同期比13.1%減）となり、外注委託費用及び維持管理費の発生により各利益ともに前年同期を下回っております。

セグメントの業績は次の通りであります。

①建設系リサイクル事業

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前年同期比	計画	計画比
売上高	1,065	1,079	△1.2%	1,049	1.5%
売上原価	787	760	3.6%	746	5.5%
売上総利益	278	318	△12.7%	303	△8.3%

建設系リサイクル事業は、新規取引先の拡大とともに既存取引先との調整により、受入数量の安定化に努めてまいりました。第2四半期であります平成27年10月～12月は大型の改修工事もなく、各施設ともに安定的な稼働を継続しております。その結果、焼却施設と発電施設を合わせた受入数量は平成27年10月～12月は微増となりました。第1四半期の受入制限の影響により、累計期間である7月～12月は前年同期比で若干減少しておりますが、受入平均単価は堅調に推移しております。発電施設の売電数量が7月～9月が法定点検の影響により前年同期比で減少しておりましたが、7月～12月は売電単価の向上により売電売上は前年同期比で15.7%増加しております。

売上原価は、外注委託費用、修繕費等が前年同期を上回っております。計画比でも同様となっております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,065百万円（前年同期比1.2%減）、売上原価は787百万円（前年同期比3.6%増）となった結果、売上総利益は278百万円（前年同期比12.7%減）となりました。

②食品系リサイクル事業

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前年同期比	計画	計画比
売上高	128	131	△2.4%	128	0.0%
売上原価	122	133	△8.3%	116	5.2%
売上総利益又は 売上総損失(△)	6	△1	-	11	△45.5%

食品系リサイクル事業は、液状化飼料の販売拡大に向けた新規受入先の開拓営業に注力してまいりましたが、受入単価等において厳しい状況が継続しております。再資源化センターでの受入数量は前年同期比で9.3%減少して

おります。受入平均単価は前年同期と概ね同額で推移しております。液状化飼料の販売数量は前年同期並みとなりましたが、販売単価の向上により、売上高は19.9%増加しております。また、銚田ファームも前年同期比で販売単価は下落しておりますが運営方法の改善により、販売数量が増加したため、売上高は23.0%増加しております。

売上原価は前年同期比で人件費、維持管理費が低減しております。一方、計画比では銚田ファームの出荷頭数が増加したことにより、出荷原価が増加しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は128百万円（前年同期比2.4%減）、売上原価は122百万円（前年同期比8.3%減）となった結果、売上総利益は6百万円（前年同期は1百万円の売上総損失）となりました。

③白蟻解体工事

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前年同期比	計画	計画比
売上高	98	72	36.4%	72	36.1%
売上原価	91	71	27.3%	73	24.7%
売上総利益	7	0	1,049.0%	△1	-

解体工事は施工体制の拡充及び営業活動により工事件数が増加しております。また、白蟻工事は取引先の仕様変更により、新築工事が大幅に減少しておりますが、既存工事件数が大幅に増加しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は98百万円（前年同期比36.4%増）、売上原価は91百万円（前年同期比27.3%増）となった結果、売上総利益は7百万円（前年同期比1049.0%増）となりました。

④森林発電事業

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前年同期比	計画	計画比
売上高	48	-	-	51	△5.9%
売上原価	45	-	-	45	0.1%
売上総利益	2	-	-	5	△40.3%

森林発電事業は、バイオマス発電施設は建設工事中であります。大志田ダムから発生する小水力電力を平成27年8月から購入し、当初は卸売りを行っておりましたが、平成27年12月から一戸町内の事業者への小売事業を開始しております。また、一戸町役場及び小中学校等の一戸町関連施設への電力小売りに向けた準備手続きを進めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は48百万円、売上原価は45百万円、売上総利益は2百万円となりました。

なお、森林発電事業は第1四半期連結会計期間より開始しておりますので、前年同期比等の比較分析を記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,868百万円増加し、6,231百万円となりました。主な増減要因は次のとおりです。

流動資産については、現金及び預金並びにたな卸資産が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて604百万円増加し、1,674百万円となりました。

固定資産については子会社の発電施設の建設仮勘定の計上等により、前連結会計年度末に比べて1,264百万円増加し、4,556百万円となりました。

流動負債については短期借入金が増加した事等により、前連結会計年度末に比べて614百万円増加し、1,296百万円となりました。

固定負債については子会社及び孫会社の資産取得にともなう借入金等により、前連結会計年度末に比べて1,028百万円増加し、2,857百万円となりました。

純資産については、利益剰余金及び設備投資に対する非支配株主からの払込による収入等により、前連結会計年

度末に比べて225百万円増加し、2,077百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、933百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における活動毎のキャッシュフローの状況とそれらの要因は次のとおりであります

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は99百万円となりました。税金等調整前四半期純利益127百万円及び減価償却費108百万円を計上しておりますが、燃料用木材であるたな卸資産が86百万円及び未収入金が108百万円増加するとともに、法人税等の支払額71百万円等の支出によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,348百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は1,848百万円となりました。これは主に森林発電事業の設備投資に伴う長期借入金の調達によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、第1四半期連結会計期間の改修工事及び法定点検の実施とともに受入制限を行った影響が出ておりますが、第2四半期連結会計期間であります平成27年10月～12月の3ヶ月間は売上高及び営業利益も概ね計画通り推移しております。

第1四半期連結会計期間と第2四半期連結会計期間との比較では、売上高が632百万円から77百万円増の709百万円、営業利益は38百万円から68百万円増の106百万円と売上高及び営業利益も大幅に改善しております。下期は主力の建設リサイクル事業は新規取引先の拡大により売上高の達成を見込むとともに、期末には森林発電事業の営業運転も開始する計画でありますので、現時点におきまして前回公表数値に変更はありません。変動が見込まれる場合は、必要に応じて適時開示してまいります。

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 累計期間	前年同期比	計画	計画比
売上高	1,341	1,283	4.6%	1,300	3.2%
売上原価	1,046	965	8.4%	980	6.8%
売上総利益	294	317	△7.1%	320	△7.8%
販売管理費	150	143	4.6%	140	7.3%
営業利益	144	173	△16.8%	180	△19.6%

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	533,068	933,175
売掛金	285,131	340,217
たな卸資産	141,189	228,109
その他	111,053	173,879
貸倒引当金	△146	△786
流動資産合計	1,070,295	1,674,594
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,151,137	2,151,497
減価償却累計額	△853,750	△884,841
建物及び構築物(純額)	1,297,386	1,266,656
機械装置及び運搬具	2,665,216	2,689,343
減価償却累計額	△1,807,268	△1,860,420
機械装置及び運搬具(純額)	857,948	828,923
土地	231,995	231,995
建設仮勘定	729,693	2,025,125
その他	52,335	55,191
減価償却累計額	△38,709	△41,961
その他(純額)	13,626	13,229
有形固定資産合計	3,130,650	4,365,930
無形固定資産	8,272	7,022
投資その他の資産		
投資その他の資産	154,565	187,080
貸倒引当金	△1,586	△3,549
投資その他の資産合計	152,978	183,530
固定資産合計	3,291,901	4,556,484
資産合計	4,362,197	6,231,078

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	213,532	219,154
短期借入金	-	509,000
1年内返済予定の長期借入金	172,360	322,984
未払法人税等	74,475	40,502
その他	221,022	204,411
流動負債合計	681,390	1,296,052
固定負債		
長期借入金	1,697,252	2,749,798
その他	131,969	108,049
固定負債合計	1,829,221	2,857,847
負債合計	2,510,611	4,153,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	481,950	499,470
資本剰余金	580,923	604,857
利益剰余金	656,582	720,931
自己株式	△35	△59
株主資本合計	1,719,420	1,825,199
新株予約権	1,438	-
非支配株主持分	130,726	251,977
純資産合計	1,851,585	2,077,177
負債純資産合計	4,362,197	6,231,078

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
売上高	1,283,309	1,341,839
売上原価	965,782	1,046,857
売上総利益	317,527	294,982
販売費及び一般管理費	143,562	150,208
営業利益	173,964	144,773
営業外収益		
受取利息	69	83
受取家賃	3,900	3,900
その他	2,642	6,388
営業外収益合計	6,612	10,371
営業外費用		
支払利息	14,083	15,017
支払手数料	11,518	5,438
その他	2,405	2,492
営業外費用合計	28,006	22,949
経常利益	152,570	132,195
特別利益		
固定資産売却益	1,928	-
特別利益合計	1,928	-
特別損失		
固定資産除却損	1,338	4,444
特別損失合計	1,338	4,444
税金等調整前四半期純利益	153,159	127,751
法人税、住民税及び事業税	46,027	36,892
法人税等調整額	21,422	21,718
法人税等合計	67,450	58,610
四半期純利益	85,709	69,140
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,932	△10,489
親会社株主に帰属する四半期純利益	91,642	79,629

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	85,709	69,140
四半期包括利益	85,709	69,140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91,642	79,629
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,932	△10,489

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	153,159	127,751
減価償却費	115,492	108,493
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,077	2,602
受取利息及び受取配当金	△69	△83
支払利息	14,083	15,017
固定資産除却損	1,338	4,444
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,928	-
売上債権の増減額(△は増加)	△6,824	△55,085
たな卸資産の増減額(△は増加)	△54,176	△86,919
仕入債務の増減額(△は減少)	16,661	5,622
賞与引当金の増減額(△は減少)	25,000	-
その他	△53,217	△136,207
小計	207,441	△14,363
利息及び配当金の受取額	69	83
利息の支払額	△13,999	△14,542
法人税等の支払額	△50,876	△71,106
営業活動によるキャッシュ・フロー	142,634	△99,929
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,062,259	△1,347,100
有形固定資産の売却による収入	2,265	-
無形固定資産の取得による支出	-	△1,032
その他	△8,631	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,068,625	△1,348,107
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	110,000	509,000
短期借入金の返済による支出	△218,325	-
長期借入れによる収入	1,144,416	1,321,849
長期借入金の返済による支出	△69,128	△118,678
社債の償還による支出	△49,000	-
株式の発行による収入	-	34,125
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△22,173	△21,046
新株予約権の発行による収入	385	-
自己株式の取得による支出	-	△24
配当金の支払額	△34,126	△15,236
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△614
非支配株主からの払込みによる収入	200,000	138,769
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,062,048	1,848,143
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	136,057	400,107
現金及び現金同等物の期首残高	926,506	533,068
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,062,563	933,175

- (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。